

令和3年8月10日

記者発表資料

(県政・横須賀市政記者クラブ、鎌倉市広報メディアセンター同時発表)

東京湾産クマエビの種苗生産に東日本で初めて成功

～地球温暖化に適応した新たな栽培漁業対象種として期待～

水産技術センターでは、地球温暖化による海水温の上昇に適応した新たな栽培漁業対象種の候補として、平成28年度からクマエビの種苗生産(栽培漁業や養殖のために人工的に卵をふ化させて育成すること)の技術開発に取り組んできました。今年度、東京湾産クマエビの種苗生産に東日本で初めて成功したので、お知らせします。

1 背景

地球温暖化による海水温の上昇に伴い、本県でも水産業への様々な影響が想定されています。県では、地球温暖化による水産業への影響を最小限に抑えるため、新たな栽培漁業対象種の候補として暖海性のクマエビを選定し、平成28年度から同種の種苗生産の技術開発を進めており、昨年度は全長約1cmの稚エビまで育てることに成功していました。

2 成果の概要

今年度、採卵方法や初期の飼育方法を全面的に見直し、稚エビ(全長3～4cm)を約5千尾生産することに成功しました。クマエビを放流可能な大きさである全長3～4cmまで育てた事例は東日本では初めてです。なお、この成果は今年度中に取りまとめ、論文等で発表していく予定です。

3 取材について

取材を希望される方は、問合せ先へ御連絡ください。

(添付資料) クマエビの説明及び写真

問合せ先

神奈川県水産技術センター

所長 利波 電話 046-882-2311

栽培推進部長 一色 電話 046-882-2314



クマエビ

- ・クルマエビの仲間で、大きいもので全長約 30cm にもなります。
- ・味がよく、加熱すると赤く発色するため、市場価値の高いエビです。
- ・国内では房総半島以南の暖かい海に生息し、東京湾の小型機船底びき網漁でも少量漁獲されています(もともと東京湾に生息する在来種です)。



生まれて1ヶ月の稚エビ(全長約2cm)



生産に成功したクマエビの種苗(全長3~4cm)